

金 沢

コロナ禍中の商談会好評

感染防止策講じ対面型で

金沢商工会議所（石川県）は8月25〜28日の4日間、石川県地域産業振興センターで「第13回かなざわマツチング商談会」を開催した。同商談会には北



間隔を空けて設置したブースで商談

参加する中、今回はコロナ対策商品やサービス、テレワークのための情報通信設備などを売り込む事業者も見られたという。商談後

陸3県と北陸新幹線沿線都市の商工会議所・商工会会員、関西、東北の商工会議所会員など185社が参加し、335件の商談が行われた。

同商談会は、エント

リーした企業間のマツ

チングを事前に行う形

式で「無駄のない商談

ができる」「手応えが

ある」と毎回高評価を

得ており、ここ数年工

ントリー数、商談数が増加している。今年は新型コロナウイルスの流行によりブース数を削減、各ブースへ飛沫（ひまつ）防止のアクリル板や消毒液を設置し、入場時のサーモグラフィによる検温、参加者のマスク着用の徹底、商談が終わるたびにブースの消毒を行うなど感染防止対策を取って開催した。

製造業やサービス業を中心に幅広い業種が

のアンケートでは、「コロナ対策も万全で安心して商談ができた」「新しいビジネスチャンスを得て、販路拡大につながった」などの感謝の声が寄せられた。

同所は「感染防止対策に人手や時間、費用もかかったが、事前調整型で密になりにくいことから対面型とした。ピンチをチャンスに変える取引が生まれれば」と話している。